

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公表番号】特表 2005-525445 (P2005-525445A)

【公表日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2005-033

【出願番号】特願 2004-503521 (P2004-503521)

【国際特許分類】

C 0 8 F 220/06 (2006.01)

C 0 8 F 2/00 (2006.01)

C 0 8 F 8/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/60 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 220/06

C 0 8 F 2/00 Z

C 0 8 F 8/00

A 6 1 F 13/18 3 0 7 A

A 4 1 B 13/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 6 日 (2006.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アクリル酸ベースで臭気の少ないヒドロゲル形成性ポリマーの製造方法であって、次の工程：

a) 水性重合媒体中でのアクリル酸少なくとも 50 質量%を含有しているモノマー組成物のラジカル重合によりポリマーヒドロゲルを製造し、前記ヒドロゲルを粒状ヒドロゲルへか又はヒドロゲル形成性粉末へ変換する工程；及び

b) 前記粒状ヒドロゲル又は前記ヒドロゲル形成性粉末を、ポリマーのカルボキシル基に対して反応性の少なくとも 2 つの官能基を場合により潜伏形で有する架橋的に作用する物質で処理する工程；

を含むアクリル酸ベースの臭気の少ないヒドロゲル形成性ポリマーの製造方法において、工程 a) において使用されるアクリル酸が、酢酸及びプロピオン酸から選択される揮発性飽和カルボン酸 400 ppm 未満（アクリル酸に対する質量含分）を含有することを特徴とする、アクリル酸ベースの臭気の少ないヒドロゲル形成性ポリマーの製造方法。

【請求項 2】

工程 a) において 0.1 ~ 5 質量%の範囲内の酢酸及び / 又はプロピオン酸含量を有する粗 - アクリル酸の一段階又は多段階の結晶化により取得されたアクリル酸を使用する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

工程 a) において 0 ~ 130 °C の範囲内の温度での粗アクリル酸の一段階又は多段階の結

晶化により得られたアクリル酸を使用する、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

アクリル酸を工程 a) において部分的に又は完全に中和されたアクリル酸水溶液の形で使用する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

工程 b) における架橋的に作用する物質が、ポリマーのカルボキシル基とエステル基を形成する化合物から選択されている、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

工程 a) において重合すべきモノマー混合物が、それらの全質量に対して

- モノマー A としてのアクリル酸 50 ~ 99.99 質量%、
 - アクリル酸と共重合性の 1 つ又はそれ以上のモノエチレン系不飽和モノマー B 0 ~ 49.99 質量% 及び
 - 少なくとも 1 つの架橋的に作用する化合物 C 0.01 ~ 30 質量% を含んでいる、
- 請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の方法により得ることができるヒドロゲル形成性ポリマー。

【請求項 8】

衛生用品を製造するための請求項 7 記載のヒドロゲル形成性ポリマーの使用。

【請求項 9】

請求項 7 記載の少なくとも 1 つのヒドロゲル形成性ポリマーを含有している吸収体を有する衛生用品。